



校長室だより

2025 年 5 月 1 9 日
丹波市立進修小学校
校長 松田 亜矢

進修小学校林「キコリン山」の歴史を知る

本校は、豊かな自然に恵まれ地域の「人・もの・こと」と触れ合い、地域の良さを実感できる取り組みがたくさんあります。その中で、3年生は毎年学校林の「キコリン山」の学習をしています。

19日には、キコリン山を寄付してくださった上田確郎さんの孫である正三さんと森林インストラクターの山崎春人さん、さらに年輪の里から、木育アドバイザーの田野和昭さんにお越しいただき、キコリン山や間伐のお話をいただきました。



今から63年前に進修小学校創立90周年を記念して、上田確郎さんが学校の役に立ててほしいという願いでご自分の山を寄付してくださいました。

キコリン山の名前は、2008年に3年生だった13人が「木がいっぱい」「ころころどんぐり」「学校林」の3つのことばを組み合わせて「キコリン山」と名付けました。

山には、たくさんの植物や動物がいます。生き物の話になると3年生の子どもたちは目を輝かせて聞いていました。山の自然の不思議さに触れることで、生き物のつながりも感じてもらえると思います。



また、田野さんからは、間伐の大切さについてクイズを交えてお話いただきました。間伐をすることで木に日が当たり、大きく太い木に育ちます。そうすると根も地面に大きく広がり、土砂災害などを防ぐことができます。間伐は大切な役目をしていることを知りました。



そして実際にチェーンソーで木を切る様子を見学しました。のこぎりを使う体験もさせていただきました。

6月16日(月)9時半からキコリン山の様子を見に行きますので、ご都合のつく方はご一緒に見学に来てください。

